

番号 _____ 名前 _____

M のついた問題は、マークシートにマークすること。

I. 図 1 は、検査で眼球の内部後面（網膜のある部分）を写した写真です。

1) このような検査を何と呼ぶか。()

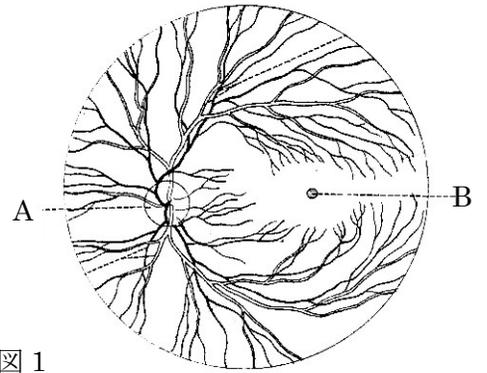
2) 図中 A と B は何と呼ばれる場所か。名称を答えなさい。

A () B ()

3) 以下の文章の下線部について、最も適切な選択肢の一つを選びなさい。

M26) 図 1 は、患者の (a. 左、b. 右) 眼 の眼底である。

図 1



M27) 物体を固視する時、その物体は図の (a. A、b. B、c. AB 両方、d. AB 以外の場所) に投影される。

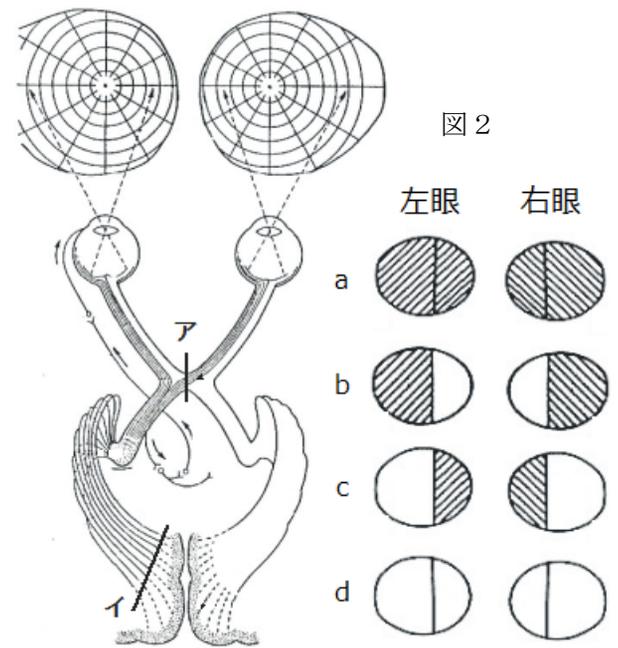
M28) 網膜上で杆体が存在しないのは、(a. A、b. B、c. AB 両方、d. AB 以外の場所) である。

II. 1) 図 2 は、視覚の伝導路を示す。アーイの部位の伝導障害で、どのような視野欠損が起こるか（あるいは起こらないか）。左右の眼について、a-d からそれぞれ一つ選びなさい。

なお、図中斜線部が欠損部位で、黄斑部残存は示されていない。

(解答欄の一覧)

	左眼	右眼
ア	M29	M30
イ	M31	M32



2) 黄斑部残存とは何か。説明しなさい。

III. 以下の文章の下線部について、最も適切な選択肢の一つを選びなさい。選択肢が二文字（例：ab）の場合は、2 か所（例：a と b）マークすること。

あお向けに寝た状態で右外耳道に冷水を注入すると、右の (M33) (a. 水平半規管、b. 前半規管、c. 後半規管、d. 卵形囊、e. 球形囊)

の有毛細胞が (M34) (a. 脱分極、b. 過分極) する。この場合生じる眼振は、(M35) (a. 右眼、b. 左眼、c. 両眼) が頭に対して (M36) (a.

左、b. 右、c. 上、d. 下) 方向に動く緩徐相と、しばらくすると眼球がすばやく逆向きに戻る急速相が連続して現れる。なおこの眼振

の方向は、(M37) (a. 緩徐相、b. 急速相) の方向で表す。

この時働く感覚神経は、(M38) (a. I、b. II、c. III、d. IV、e. V、ab. VI、ac. VII、ad. VIII、ae. IX、bc. X、bd. XI、be. XII) 脳神

経である。関与する運動神経は、中脳から出る第 (M39) (a. I、b. II、c. III、d. IV、e. V、ab. VI、ac. VII、ad. VIII、ae. IX、bc.

X、bd. XI、be. XII) 脳神経と、橋から出る第 (M40) (a. I、b. II、c. III、d. IV、e. V、ab. VI、ac. VII、ad. VIII、ae. IX、bc. X、

bd. XI、be. XII) 脳神経である。この検査は () と呼ばれる。

IV. 眼に次の症状が見られる場合、神経系のどこに障害があると考えられるか。また、それは左右どちら側か。最も適切な選択肢を一つ、選びなさい。

- 1) 眼を右に向けようとする、右眼は外転するが、左眼が内転しない。輻輳はできる。(部位：M41、左右：M42)
- 2) 光をあてない状態で、左眼のみ散瞳している。(部位：M43、左右：M44)
- 3) 頸部に痛み刺激を加えると、右眼に散瞳が起きたが、左眼に散瞳は起こらなかった。(部位：M45、左右：M46)
- 4) 正面を向かせると、右眼が内側偏移している。(部位：M47、左右：M48)

部位の選択肢：a. 視神経、b. 動眼神経、c. 滑車神経、d. 外転神経、e. 内側縦束、ab. 当てはまるものはない

左右の選択肢：a. 左、b. 右、c. 両側、d. どちら側か判断できない

V. 次の文章は、正しいか。正しいときは a、誤りがあるときは b をマークしなさい。誤りがある場合、正しい文章になるよう下線部を変更し、変更内容を () に書き入れなさい。

- 1) 錐体路に障害が起こると、健常成人で見られる(M49) 腹壁反射が消失する。()
- 2) 錐体路障害で見られる足クローヌスとは、(M50) 足関節を背屈させようとすると足関節がガクガクと動く現象である。()
- 3) 観念運動失行とは、(M51) 道具を持ってそれを使用することが困難になる状態である。()
- 4) 海馬で生じる(M52) 長期抑圧は、記憶の形成に関与する。()
- 5) うつ病では、恐怖など負の情動にかかわる神経核である、大脳基底核の中の(M53) 尾状核に過活動が見られる。()
- 6) 角膜反射に関わる末梢神経は、(M54) 感覚神経運動神経共に第V脳神経である。()
- 7) 脳波の(M55) δ 波の周波数は、おおよそ 2Hz である。()
- 8) 脳死状態では、Japan Coma Scale は(M56) 100になる。()
- 9) 眼の水晶体の調節を行う脳神経は、第(M57) III脳神経である。()
- 10) 摂食中枢に存在する(M58) オレキシンニューロンは、覚醒状態の維持にも関わる。()